

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3071100287
法人名	社会福祉法人清和福祉会
事業所名	グループホーム美里園
所在地	和歌山県海草郡紀美野町安井6-1 (電話) 073-495-3216

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会		
所在地	和歌山県和歌山市手平二丁目1-2		
訪問調査日	平成21年2月5日	評価確定日	平成21年2月24日

## 【情報提供票より】(20年12月11日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 5人, 非常勤 2人, 常勤換算	6.3人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780円		

### (4) 利用者の概要(12月11日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	3 名	要支援2	名		
年齢	平均 84.8 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	石本病院、河野歯科
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域の福祉拠点となっている母体法人に併設されているグループホームとして、小・中学校の年間を通した総合学習の地域資源として位置づけられ、その取り組みを積極的に受け入れている。利用者は生徒と共に四季折々の行事や作品作りを楽しみ、生徒達の成長を見守りながら地域の中で大きな役割を果たしている。玄関先のプランターには中学生とその父兄のボランティアが植え付けてくれたチューリップの球根が沢山芽を出しており、利用者と共に春を待つ地域の温もりが伝わってくるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 重度化や終末期に向けた方針の共有については、文書を作成し全員に説明した上で、事前調査書・同意書等の記入により意向の確認を行った。また、今後も繰り返し話し合い全員で方針を共有する事になっており積極的な取り組みがなされている。鍵をかけるケアの実践については、検討を重ねていたが地理的な環境から実施には至らず、弊害を十分に理解した上で閉塞感を感じさせないケアに努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者・職員共に自己評価・外部評価の意義を十分に理解しており、改善に向けた取り組みも積極的にされている。今回の自己評価についてもミーティングの中で項目毎に話し合い管理者がそれをまとめあげた。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では、ホームについての情報提供や取り組みについての説明を行い積極的な意見交換がされている。今年度は行政や地区長の協力を得て地域住民を対象とした「グループホーム見学会」や「認知症サポーター養成講座」を開催し大きな成果が得られる結果となった。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 法人には福祉サービス第三者委員として相談窓口を設けており、ホーム便りでも毎回苦情等意見を求める呼びかけを行っている。また、家族に向けてアンケートを実施し、出された意見については直ぐに取り入れ運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 小・中学校の発表会や運動会に参加し交流すると共に、中学校の総合学習の一環として生徒の訪問を受けたり、地域のボランティアグループの訪問も積極的に受け入れている。また、地域の方々から農作物や旬の果物等がよく届けられている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で利用者一人ひとりの人格を尊重しつつその人らしい生活を継続して頂くとの事業所独自の理念をつくりあげている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は日々の業務の中でも常に理念に則ったケアを心がけるよう職員の指導を徹底しており、職員も理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小・中学校の発表会や運動会に参加し交流すると共に、中学校の総合学習の一環として生徒の訪問を受けたり、地域のボランティアグループの訪問も積極的に受け入れている。また、地域の方々から農作物や旬の果物等がよく届けられている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員共に自己評価・外部評価の意義を充分理解しており、改善に向けた取り組みも積極的にされている。今回の自己評価についてもミーティングの中で項目毎に話し合い管理者がそれをまとめあげた。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームについての理解を深めて貰える様に情報提供や取り組みについての説明を行い、積極的な意見交換がされている。今年度は行政や地区長の協力を得て地域住民を対象としたグループホーム見学会や認知症サポーター養成講座を開催し大きな成果が得られる結果となった。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町担当者とは母体法人の事務長がパイプ役となっており、情報を得る中で管理者と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。特に町の広報誌では認知症サポーター養成講座の取り組みが、管理者の声と共に紹介され大きな反響があった。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等への報告は随時電話で行っているが、個人毎のホーム便りを作成して手渡したり送付する等して暮らしぶりや健康状態、職員の異動等について報告している。金銭管理については法人で行っており郵送にて報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人には福祉サービス第三者委員として相談窓口を設けており、ホーム便りでも毎回苦情等意見を求める呼びかけを行っている。また、家族に向けてアンケートを実施し、出された意見については直ぐに取り入れ運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の職員異動は最小限に抑えられており、管理者も長年継続して携わっている。退職等致し方ない場合は理由等を利用者にきちんと説明し、寂しい想いをしない様に遊びに来て貰う等の配慮をしている。		
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員はグループホーム連絡会が実施する新人研修会に参加し、内部ではマニュアルを元に管理者や先輩職員が実地指導を行う事になっている。また、全職員が段階に応じた研修が受けられる様、育成の機会が確保されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会には管理者・職員共に参加しており、同業者との貴重な交流の機会となっている。相互実習では他のグループホームの取り組みを知る中で、日々のサービスを見直す良い機会となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	雰囲気に馴染める様に、事前に利用者や家族の見学を勧めているが、法人内のデイサービスやショートステイを利用しながら待機されている方が多く、徐々に馴染んで貰える環境づくりがされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	季節行事や慣わし、昔ながらの生活の知恵など、職員が教わることも多く喜怒哀楽を共にする中で支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴等を十分に把握する中で、職員が密に接し一人ひとりの思いや意向の把握に努め、「私の気持ちシート」に書き留めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式の一部(私の気持ちシート)と、法人独自で作成している「ストレングスマデルシート」を活用して詳細を把握する中で毎月のケース会議において職員の意見をまとめ、家族や主治医等関係者の意見を取り入れた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度介護計画の見直しを行うと共に、毎日のミーティング、月1回のケース会議等で見直しの必要性を検討し、状態変化に応じ現状に即した計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、専門科への通院や退院時の送迎、日帰りドライブ等特別な外出支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関医師が主治医となり週1回往診して貰っており、法人看護師とも連携がとれている。また、理学療法士も定期的に訪問してくれており、適切なりハビリを受ける事ができている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の対応について、文書を作成し全員に説明した上で事前調査書・同意書等の記入により意向の確認を行っている。また、今後も繰り返し話し合って対処していく事を伝えており、全員で方針を共有できている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者を尊重しており、言葉遣いや対応などからもプライバシーを損ねる言動は見られない。ホーム便りについても一人ひとり個別に作成しており、個人情報保護についても徹底した対応がされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、職員も十分にゆとりを持って接している。夫々が自由に希望を表出しており、本人の意志を最優先に支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れて献立を立てており、旬の食材や地域の特産品を多く使うなど食事の中で話題を提供し会話が弾む様にと工夫されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ADL低下の為、ホームの浴室では対応出来なくなり、母体法人の浴室を使用している利用者もおられるが、職員が付き添って介助している。共にゆっくりと職員との会話を楽しみながら支援を受けている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編み物や折り鶴などの手芸を楽しんだり、洗濯物を取り入れて畳むなど一人ひとりが張り合いや喜びを持てる様に適切な支援がされている。特に地元中学生の定期訪問を受ける中で、共同作品の制作や季節行事を通して一人ひとりの生徒の成長を楽しみに見守っている様子が窺える。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物等月1回ドライブを兼ねて出かけている。また、地域の敬老会や文化祭等のイベントにも参加し、時々お弁当を持って散歩にも出かけているが、体力的に外出が困難となってきており、回数は減少傾向にある。	○	利用者の負担にも配慮しつつ、時間や行き先、方法等を工夫する中で、日常的に少しでも外気に触れられる時間が持てる様、取り組まれる事が望まれる。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は自由に入出入り出来る環境にあるが、玄関の扉は暗証番号で開閉するシステムになっており、利用者・家族の理解を得て施錠している。鍵をかけないケアに検討していたが、地区長より本人の安全の為、施錠してほしいとの要望があった。運営者及び全ての職員は弊害を充分に理解した上で、閉塞感を感じさせない取り組みに努めている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人全体で年1回、町の消防署の協力を得て夜間体制も想定した避難訓練を行っており利用者と共に参加している。母体法人とは廊下で繋がっており緊急時等協力が得られる体制となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量や水分摂取量は記録しており、一日を通じて必要量確保出来るよう支援されている。また、栄養バランスについても十分に確保出来る様に支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りにはボランティアが植えつけてくれたチューリップが芽を出しており、大きな鉢には生徒が届けてくれたメダカがゆったり泳いでいる。広いフロアーには何処でもくつろげる様にソファやテーブルが適所に配置されており、穏やかな雰囲気の中で居心地良く過ごせる共用空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	大きな窓から緑豊かな景色が眺められ、明るく、一体的に季節を味わう事ができる造りになっている。また、一人ひとり使い慣れた物や好みの物を配置して居心地良く過ごせる様、工夫されている。		